



コスモピア

2024春 vol.115

社会福祉法人 秋桜会
〒716-1401 岡山県真庭市五名574-1
TEL 0866-52-4771 FAX 0866-52-4772
Eメール kosumosunosono@kosumosukai.jp
ホームページ kosumosukai.jp



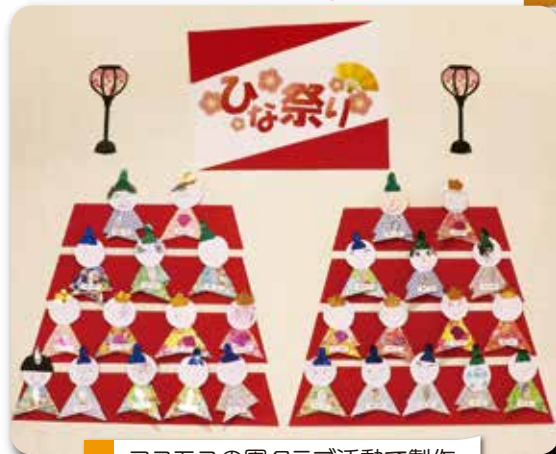
障害者支援施設 コスモスの園

就労継続支援B型事業 コスモスワーク

共同生活援助事業 コスモス共同生活事業所

相談支援事業 サポートステーションコスモス

放課後児童健全育成事業 ほくぼう児童クラブ



コスモスの園クラブ活動で製作

◆折々の記◆

地域共生社会に向けてその十二

『これからの交流を考える』

社会福祉法人 秋桜会

理事長 奥田健治

『令和7年度の新築に向けて厳しいハードル』

「コスモスの園はいつ建つのか」とのお尋ねに、「ご心配をおかけしています。令和7年度移転新築で、令和8年度開園です。」のお返事が増えました。一刻も早くコスモスの園の姿が見たいとお気持ちとありますが、たく受け止めています。今は基本設計の段階ですが、建築資材等の高騰で当初の計画変更を余儀なくされています。建築費用は、園の財源と補助金と借入金で賄います。頼みは国の施設設置の補助金ですが、昨今は福祉施設の災害復旧・復興等への予算措置が優先で、施設新築の補助金が厳しい状況です。土砂災害警戒区域に位置するコスモスの園なので、最優先事業として補助金がいただけるよう市・県・国へ要望をしています。厳しいハードルですが、夢のある施設建築に向けて一層の努力を続けます。

「こころの窓 その一

おしながき

さや香につづる 忘年会

おしながき
たけのこのおかにし春
さやうりのすもも夏
くりごぼん秋
たらのゆずみそやき冬
てんぷら
ちやんむし

12月28日忘年会の昼食弁当の「おしながき」です。「おもてなし料理と楽しい出し物で一年を懐かしむ一時」の忘年会は、利用者と職員が全力で取り組みます。料理は「身土不二のごとし。四季の香を漂わせてもてなす若い栄養士の業

（わざ）。それを支える調理員4名。中に9月採用の若い調理員。支えるのは3名のベテラン調理員。丁寧に関わり彼女の力を引き出しながらワンチームの厨房。人に良いと書く「食」は命の源です。厨房は食源の里であり支援の源です。利用者50名一人一人に応じた献立を毎日提供している厨房は息の抜けない戦場です。でもこの中で温かい呼吸が渦巻く本園の厨房は大事にしたい姿で誇りに思います。

「原則⑤ 非審判員態度の原則
あなたを責めたり裁いたりしないよ、ありのままをさちんとうけとめ、理解します。安心して何でも伝えてね。」
支援員は審判員ではないので、行為を責めたり裁いたりしません。自分が裁かれると思ったら本当のことを話さないからです。良し悪しを決めるのは利用者です。支援員に心の余裕や自信がないと、つい責めようとしがちです。

「原則⑥ 自己決定の原則
悩んだり困ったりするときは、どうすればいいのか、あなたが決めるのですよ。」
困ってしまったっても自虐的にならずに落ち着いて考えるように支援します。どうすれば……？ どうすれば……？ という言葉掛けがいいようです。「どうして……？」はだめです。詰問されている感じになりますね。

「原則⑦ 秘密保持の原則
あなたのことは誰にも話さないよ。安心して相談してね。」
当たり前のことですが、秘密が守れない支援員や相談員は失格です。以上がバイステイックの7原則です。良好な対人関係づくりに活用できます。

社会福祉法人秋桜会 令和6年度事業計画

秋桜会では、運営している障害者支援施設及び共同生活援助事業並びに就労継続支援B型事業の利用者の高齢化、障害の重度化に対応した支援を提供するとともに、地域で暮らす障がいのある方も適切なサービスが利用できるように計画相談・障害児相談支援事業も運営します。放課後児童健全育成事業を運営し、子育て支援にも併せて取り組みます。また、地域の高齢者、障害者を対象とした買い物送迎サービスを引き続き運行するなど、地域貢献活動にも取り組みます。

障害者差別解消法の改正で合理的配慮の提供が義務化となり、法人としても改めて合理的配慮を重視した運営に取り組みます。さらに、適正かつ活力のある法人経営に努め、事業運営の透明性の向上を目的とした情報公開を続け、法人が有する資源や機能、人材を活用し地域に根ざした事業運営を進めていきます。

コスモスの園移設建て替え事業に関しては、設計業者と協議を重ね基本図を作成し、資金計画や国庫補助金の交付申請に関する準備を進め、令和8年度の移転へ向け遂行していきます。

コスモスの園

1 障害者支援施設(施設入所事業)及び生活介護事業

障害者総合支援法改正法施行後の見直しを受け、障害福祉サービスの方向性を職員間で共有すると共に、コロナ禍で停滞していた家族・地域との関りの改善を進めていきます。

施設入所事業では新たな個別支援計画の立案に向けて、利用者の方が希望する生活実現に向けての意向調査や、障害の重度化・高齢化などのニーズ対応等を進めて行き、質の高い福祉サービスの実現に向けて努めていきます。

日中活動では、各日中活動班において利用者個々の状態に合った題材を提供し活動意欲の向上を図ると共に、施設移転後の活動を見据えて内容検討も進めます。職員は支援の充実のために利用者の方の現状を把握し、新たな支援サービスが提供できるよう、研修等で資質向上を図ります。

4月からの合理的配慮の提供、事業継続計画の策定や研修の義務化を受け、更に虐待防止やリスクマネジメントを展開すると共に、利用者へ寄り添う支援を心がけていきます。健康支援では日常の健康管理に

配慮すると共に、感染症発生時や体調の急変時には医療機関の協力、受け入れが可能となるよう連携に努めます。



2 在宅支援事業(短期入所及び日中一時支援)

短期入所事業については、在宅介護を行うご家族のニーズに対して、サービス等利用計画及び個別支援計画に基づいて健康や安全に配慮した適切な保護を行い、利用者個々に応じたサービスの提供に努めていきます。また、緊急時の受け入れについても相談支援事業者と協議しながらより進めていきます。各市町村の地域生活支援事業から受託した日中一時支援についても前向きに受け入れに取り組みます。

今年度、短期入所と日中一時を合わせた利用者は年間延べ288日を見込んでいます。

コスモスワーク (就労継続支援B型事業)

高齢化・重度化が進むなか、利用者ニーズに寄り添った個別支援計画をもとに、利用者支援と工賃のバランスをとりながら生産活動に取り組めます。



働くことを通じて社会参加し「働く喜び」を得られるよう支援していきます。そのため、個々の利用者の障害特性や能力・意向に配慮した作業を提供するとともに、他者との協調性・コミュニケーション能力の向上を図ります。また、自主製品の製造販売や企業からの請負に取り組み、地域から必要とされる事業所となるよう努めます。

防災計画・事業継続計画に基づいてリスクマネジメントを強化するとともに、研修や会議を通して支援に関わる専門性を高め、利用者の権利擁護に努めます。また、利用者からの相談や要望に応えるとともに、利用者家族・関係機関との連携に努めます。



コスモス共同生活事業所 (共同生活援助事業)

利用者個々の自主性を尊重しながら、その人らしく生活が送れるよう支援していくために、個々のニーズをしっかりと把握し、一人一人に合ったサービスを提供していきま

連携しながら、安心安全な生活の場を提供していきます。また、地域行事にも積極的に参加し、地域と共存するグループホームを目指します。

研修や会議を通して職員の手害に対する支援スキルを向上させ、利用者の生活の向上、権利擁護に努めます。また、感染症対策の徹底と医療機関との連携により、利用者の健康維持に努めるとともに、防災計画・事業継続計画に基づいてリスクマネジメントを強化します。

さらに、サテライト型住居を新設し、利用者の多様なニーズに応えるとともに、地域移行をさらに進めます。



サポートステーションコスモス (計画相談支援事業)

障害児相談支援事業

利用者の方やそのご家族が抱えている悩み・不安・課題の相談に応じ、置かれている環境を考慮した上で適切なサービスが利用でき、安心して継続できる様サービス等利用計画や障害児支援利用計画の作成やモニタリングを行います。またご本人やそのご家族のニーズに寄り添い、丁寧に意思決定支援を行いながら、福祉サービスの事業所や関係機関なども連携を図り、希望する生活を送ることができるよう、きめ細やかな支援を行っていきます。

そして相談支援事業所としての基盤を整えて収益を上げていく事、相談支援専門員として地域の資源となり、関係機関とのつながりや社会資源にも視点を置き、前向きに働きかけていきます。

ほくほく児童健全育成クラブ (放課後児童健全育成事業)

放課後や学校休業日に、保護者が就労や介護などにより昼間家庭におらず、安心・安全が保障出来にくい児童について、子どもの健全な育成と遊び及び生活の支援をしていきます。

子どもの発達段階に応じた主体的な遊びや生活が可能となるように、個人差を踏まえて一人ひとりの心身の状態を把握しながら支援を行います。放課後が安心した時間になるよう継続的に小学校と情報交換を行い、充実を図っていきます。

さらに新入学児童が不安なく児童クラブへ通えるように、こども園へ情報提供をお願いし準備していきます。保護者の方には、児童の成長を一緒に見守っていく姿勢を伝え、安心して利用していただけるように家庭支援をしていきます。また、放課後等デイサービスと十分な連携を図り、課題のある児童に対して適切な養育環境が得られるよう支援する役割を担っていきます。児童支援員、また補助支援員の資質向上を積極的に行い、研修・事後学習に取り組んでいきます。

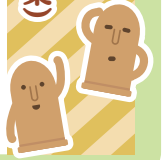




コスモスワーク

(就労継続支援B型事業)

古墳&埴輪クッキー販売!!



北房地域は古墳が多く、地域・大が行政が連携して発掘調査を進め、「西の明日香村」まちづくりに取り組んでおり、三月二日には「西の明日香村フォーラム&荒木山西塚古墳発掘調査現地説明会」が開催されました。

コスモスワークの食品加工班では、全粒粉クッキーやスノーボール、パウンドケーキ等の焼き菓子を手作りし、道の駅や各種イベントなどで販売していますが、関係した製品を制作してはどうかとの声を掛けていただき、「西の明日香村クッキー」と名打って、全粒粉を使い、古墳と埴輪の形をしたクッキーを作り、当日、会場で販売しました。多くの方にお買い上げいただき、ありがとうございました。



コスモス共同生活事業所

(共同生活援助事業)



雛祭りに行ったよ

3月2日、メイプルホームの利用者と職員で、勝山のお雛祭りに行きました。この日は雪が降り、とても寒かったです。町並み保存地区の通りの家々の窓際や軒先にたくさんのお雛様が飾られていて、それを見ながら楽しんで歩きました。

小高い所にある古民家カフェでランチを頂いて帰りました。



もう一つの楽しみ「古民家カフェ ろまん亭のランチ」

コスモスの園 合同防災訓練実施



令和6年3月3日(日)コスモスの園東側山林からの火災発生を想定し、真庭消防北房分署・真庭市消防団北房方面隊第四分団・自主防災組織と合同で避難訓練を行いました。

消防団による放水と利用者の方の避難に加えて、災害時に必要となる段ボールベツト・簡易テントの組み立てを自主防災組織の皆さんと行いました。また、職員は消

火器を使用しての消火訓練も行い、一時間程度の時間内に内容の濃い訓練を実施することが出来ました。

外部の方を交えての避難訓練は始めてのことであり、緊張の中にも防災訓練を通じて地域との関りの重要性を感じる事が出来ました。今後も利用者様への安全安心を提供していきます。

北房ぶり市出店



2月4日(日)真庭市皆部商店街において北房ぶり市が開催され、秋桜会も後援会主催で出店しました。

前日の準備から当日の販売までご協力いただいた後援会の皆様のおかげで、チャリティーバザー品や、今年初めてコスモスワイクで栽培した黒大豆豆餅を作り、ぜんざいの販売もおこないました。いずれも昼過ぎには完売となりました。コスモスワイクからは焼き芋、クッキーを販売し、大勢の来客でにぎわいました。

当日は良い天気になり利用者さんも4年ぶりに会場にいかれ、思い思いの飲食物を食べ、ぶり市の風にあたる事が出来ました。元気に1年が過ぎることと思います。ご協力いただいた皆様、来店していただいた皆様、本当にありがとうございました。ご協力いただいた皆様、来店していただいた皆様、本当にありがとうございました。



ほくぼう児童クラブ

皆で丸めたよ

美味しい~

おもちつき

いただきます!

更生保護の方からカレーをいただきました

ばい!チーズ!

山のハンモック

山の中でおやつ

どねを 持つのかぞ?

お雛様飾りをしました

こんなことがありました

in コスモスの園

利用者忘年会

クリスマス慰問LIVE

とんど

地域貢献活動

無料

コスモスおでかけ便
運行中



北房地区の方で、買い物等で交通の便が悪くお困りの方を対象に、定期便として『自宅～マルナカ北房店間』の買物等の送迎サービスを行っています。ご利用にあたっては事前に会員登録が必要です。詳しくは、コスモスおでかけ便事務局までお問合せください。(☎52-4771)

職員募集



秋桜会では、入所の施設をはじめ、通所の作業所、グループホーム、放課後児童クラブ等の運営をしています。各事業所の利用者の生活・日中活動の支援及び介護等を行う職員を随時募集しています。お気軽にお問合せください。詳しくは、求人担当(天野)までお問合せください。(0866-52-4771)



コスモスの園
生活支援員
芦田 佳歩

4月からコスモスの園で勤務させていただきます。私は、体を動かすことが好きなので自分の好きなことを活かしながら利用者の方と関係構築していきたいです。よろしくお願いいたします。

新職員紹介

〈コスモスの園〉
はるちゃんファミリークリスマス慰問LIVE
～みんなde楽しく歌おう&腹話術のけんちゃんトークショー～
北房小学校総合学習福祉施設見学5年生 10名 12月21日
〈ほくぼう児童クラブ〉
児童更生保護 6名 1月9日

交流

(ボランティア) (12月～2月)

ぶりを市をはじめ、多くの方との交流ができました。ありがとうございました。
ぶりを市出店準備・当日販売
2月3日・4日 (敬称略)
黒瀬 智恵子 杉田 閑子 坂口 勝美 土井 章代
井口 裕子 安田 絹江 大月 説子 福山 眞知子
中山 美充子 坪内 生乃 菅井 悦子 藤井 保浩
藤井 喜代子 大患 八重子 三ツ 洋子 藤本 雅子
片山 美和子 的場 敏恵 高田 尚子 妹尾 多美子
原 一行 西谷 勝男 加戸 宏司 平利 行
岩井 靖夫 吉田 昇 成田 邦朗 稲田 隆司
中山 莊司

寄付

(12月～2月)

次の方より寄付をお受けしています。紙面をもちまして厚く御礼申し上げます。(敬称略)

池奥 一雄
池田 好司



Quiz

問

「コスモスワークが販売した『西の明日香村クッキー』は何と何の形をしているでしょう？」

はがきに答え、郵便番号、住所、氏名、電話番号、コスモピアの感想を書き、〒716-11401 真庭市五名574-11 社会福祉法人秋桜会「コスモピアクイズ」係へ。正解者の中から5名に景品を贈ります。(締め切り4月末)

前回の正解は「コスモスの園スポーツ交流会でした。当選された5名の方に過日景品としてコスモスワークの授産品(クッキーセット)を送っています。

編集後記

今年度はコスモスの園が設立して30周年の年になります。ついこの間20周年だった気がするのですが、あっという間に10年が経っていました。また新たに気持ちを引き締めて、たくさん笑顔をお届けできるように頑張っていきたいと思えます。

また、昨年末に秋桜会のホームページをリニューアルしました。この紙面では紹介しきれない記事も掲載しておりますので、一度ご覧ください。

(山・白金・森田)

